

茨城県「老舗企業」分析調査（2024 年）

業歴 100 年以上の「老舗企業」 県内に 950 社

～ 茨城県の「老舗出現率」は 2.94%、全国を上回る ～

老舗企業推移（茨城県）

長い業歴のなかで、変化を恐れず「進取の気性」を持つことで多くの災害や需要の変化などを乗り越えてきた老舗企業。国内の多くを占めているファミリービジネスや質素・儉約などを記した家訓に代表される商業精神など、日本ならではの老舗の姿は経営の教科書的存在として取り上げられることが多く、商売繁盛に向けての模範として扱われている。一方で、足元では老舗企業の倒産が目立っている。「老舗＝安泰」のイメージが崩れかけており、本業の事業性評価が問われるなど老舗企業の底力が試されている。

そこで、帝国データバンクは、創業・設立から 100 年以上の業歴が確認できた企業を「老舗企業」と定義、分析を行った。



※帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」（2024 年 9 月時点、全国約 147 万社、茨城県約 2 万 9000 社収録）に加え、独自で収集し営業の実体を確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年を超えている企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った

※創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した

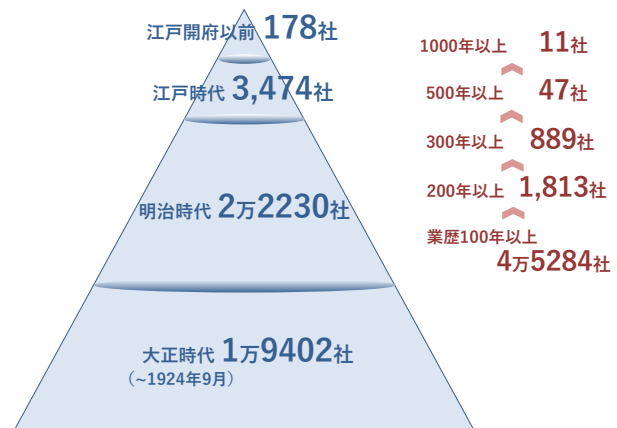
調査結果（要旨）

- 2024 年 9 月時点における全国の老舗企業数は 4 万 5284 社、「茨城県」は 950 社
- 老舗出現率は全国で 2.75%、トップは京都府で 5.35%。「茨城県」は 2.94%で全国の 2.75%を上回る
- 業種別では「清酒製造」が最も多く、酒類関連が上位に並ぶ
- 売上高別では、「1 億円未満」が 51.0%と半数超え

1. 老舗企業は全国で 4 万 5284 社、そのうち「茨城県」は 950 社

老舗企業 時代／業歴別 (全国)

全国の老舗企業数は 4 万 5284 社だった。200 年以上 1813 社、300 年以上 889 社、500 年以上 47 社と続いている。さらに、江戸時代の創業は 3474 社で、江戸開府 (1603 年) 以前の創業は 178 社だった。合わせて、明治維新以前に創業した企業は 3652 社を数えた。

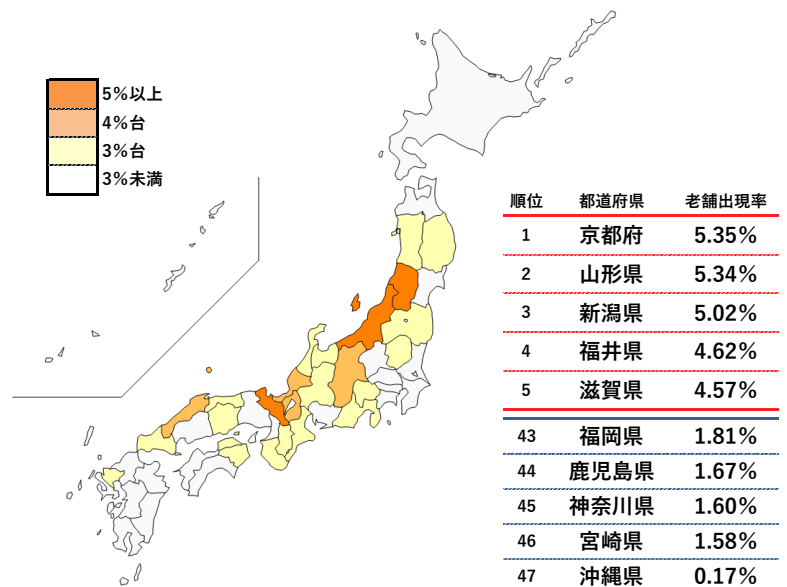


そのうち、茨城県の老舗企業数は 950 社で、昨年 (934 社) の集計より 16 社増加した。なお、栃木県は 714 社 (昨年 696 社)、群馬県で 770 社 (同 746 社) の老舗企業があり、北関東 3 県だけで 2434 社にのぼった。また、北関東 3 県のなかでは茨城県が最も多いことがわかった。

2. 老舗出現率、京都府が 5.35% でトップ、「茨城県」は 2.94% で 26 位

老舗出現率 (都道府県別)

全企業数に占める老舗企業の割合を指す「老舗出現率」を都道府県別でみると、京都府が 5.35% で最も高かった。商業の中心地ではなかったものの、儉約・勤勉などの精神が根付く京都府における老舗の存在感は今でも強い。山形県 (5.34%) もトップの京都府に肉薄し、新潟県 (5.02%) は前年から上昇し 5% を上回った。ほかにも福井県 (4.62%)、滋賀県 (4.57%) など、江戸時代中期の北前船によって栄えた日本海側エリアの府県が上位だった。

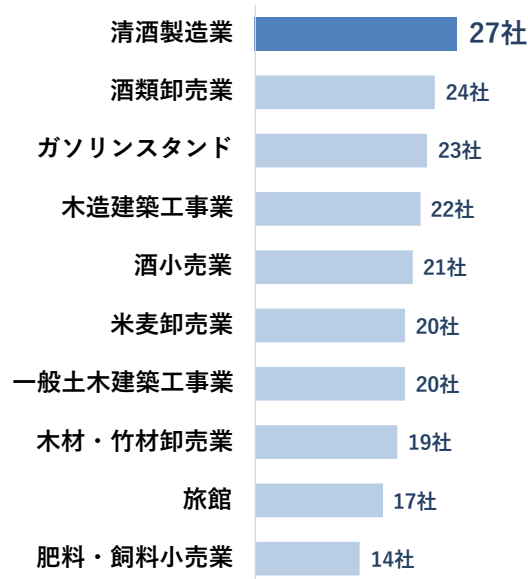


茨城県の「老舗出現率」は 2.94%、前年調査と変わらず 26 位であった。徳川御三家のひとつとして、地方における政治、経済の中心として栄えたことから老舗企業が比較的多く、全国 (2.75%) よりも高い出現率となっている。

3. 業種別、「清酒製造」がトップ、酒類関連が上位に

業種別でみると、老舗企業数は清酒製造業がトップで 27 社を数えた。次いで、酒類卸売業が 24 社、ガソリンスタンドが 23 社で続いた。その他、木造建築工事業（22 社）や酒小売業（21 社）などが上位にランクイン。茨城県の老舗企業は酒類関係が上位に並ぶ傾向にあった。

老舗企業数 上位 10 業種（茨城県）

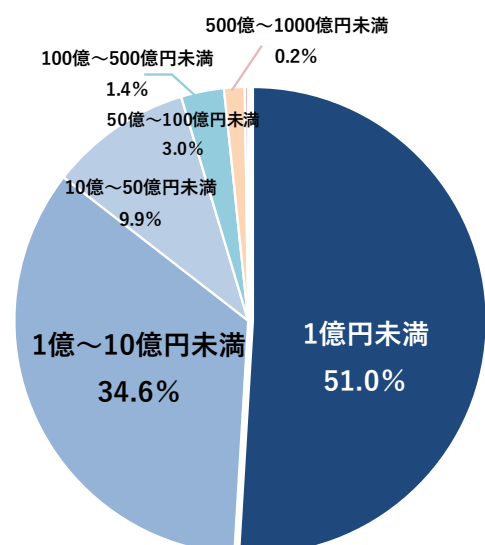


4. 売上高別、51.0%が「1 億円未満」、10 億円以上は 14.5%にとどまる

売上高別でみると、「1 億円未満」が 51.0%と半数超にのぼった。売上高が判明している老舗企業のうち、多くが小規模事業者であることが明らかとなった。次いで「1 億～10 億円未満」が 34.6%で「1 億円未満」と合わせると 85.6%を占めている。

一方、売上高 10 億円以上の割合は、合計で 14.5%にとどまった。「10 億～50 億円未満」9.9%、「50 億円～100 億円未満」3.0%、「100 億～500 億円未満」1.4%、「500 億～1000 億円」は 0.2%とわずか。規模が大きくなればなるほど少なくなる傾向が示された。

老舗企業 売上別構成比（茨城県）



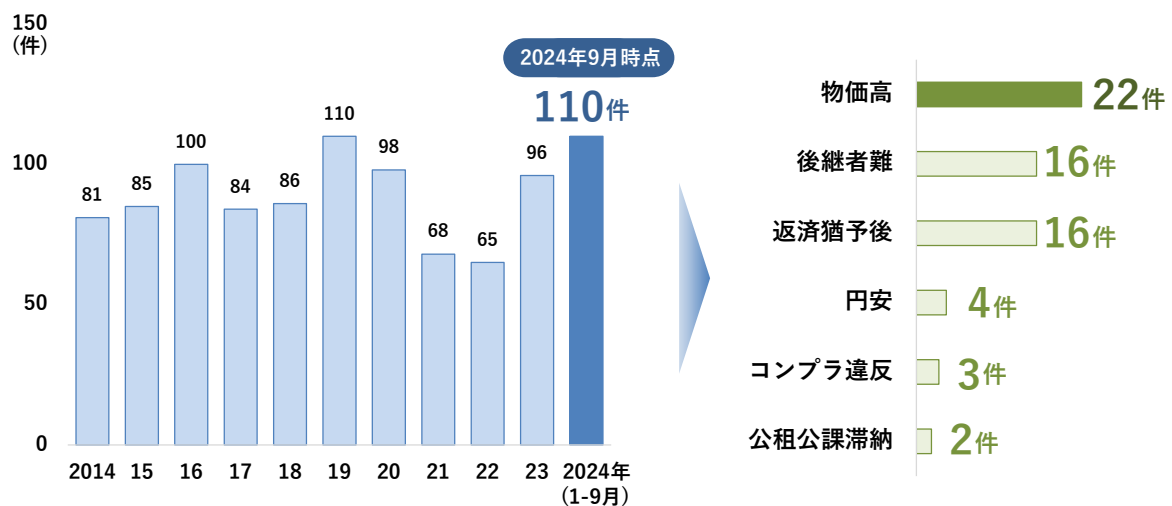
まとめ

日本には 100 年以上の歴史を持つ企業が多く、世界全体の半数以上を占めているという調査結果もある。国内には約 4 万 5000 社の「老舗企業」が存在し、清酒製造など日本の伝統文化に根差した産業が今なお事業を継続している。また、「ニッポンの老舗」は、長年にわたって蓄積された資産による財務の収益性・安定性が強みとして確認されている。

その一方で、老舗企業にも逆風が吹き始めている。2024 年 9 月時点で、老舗企業の倒産件数は全国で 110 件に達し、これは過去 10 年間で最も多かった 2019 年の水準に並んでいる。茨城県では老舗企業の半数以上が年商 1 億円未満の小規模事業者であり、売上の減少や後継者不在といった問題に直面している企業も少なくない。そのため、倒産には至らずとも休廃業が増加する可能性は高まってくることが懸念されている。

こうした状況を踏まえると、「老舗だから大丈夫だろう」といった先入観を持たず、企業の経営状態を冷静に見極める姿勢が求められる。しかし、長い歴史のなかで地域経済を支え、変化の波を乗り越えてきた老舗企業のノウハウには学ぶべきものが多い。持続可能な経営のモデルとして、今後も注目されていくであろう。

老舗倒産 年間推移／倒産要因別（全国）



【内容に関するお問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 水戸支店(情報担当: 国分 信一郎)
 TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272 MOBILE 080-7002-7189

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内で
 ご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。